



建築文化賞

景観に配慮した一般建築物

かずさアカデミアホール

所在地：木更津市矢那1637

施主：千葉県

設計：(株)坂倉建築研究所

施工：(株)竹中工務店 三井建設(株) (株)銭高組



撮影：北嶋俊治

上総の丘陵地に自然環境との共生をコンセプトに開発されつつある学術研究都市のセンター施設である。

尾根の地形を活かして配置された建物は、表と裏で大きく表情を変える。正面は、この土地の土の色に合わせた淡い褐色煉瓦の長い壁面で構成され、修景池に浮かぶガラスの円筒がエントランスホールになっている。来訪者は、ここからオートスロープで水上を移動し、光あふれるメインロビーへ導かれる。

これに対して南面は、ガラス、金属、コンクリートで構成され、21世紀を目指す先端技術開発拠点にふさわしいシャープな表情を生みだしている。メインロビーと大小の会議室を結ぶホワイエからは、ガラスの壁を通して四季折々の自然を満喫することができる。

楕円形プランのメインホールの外壁は、コバルト色のチタン陶板で覆われ、丘陵の緑と調和しつつ、遠方からも望むことのできるランドマークになっている。

建築としての完成度の高さ、丘陵地の景観との調和、いずれの点でも質の高い作品と言えよう。

なお、本ホールの隣にはホテルが同時に建設されて



撮影：北嶋俊治

いる。両者を合わせて対象にしてはどうかとの意見もあったが、異質なデザインの調和の面で疑問が出され、今回はホールのみでの授賞となった。

(北原理雄)